

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 松ヶ江北 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

本校児童は、毎週木曜日の朝学習の時間に設定している「松北スポーツタイム」において、様々な運動に取り組む活動を実施しているため、運動を楽しんでいる児童は多い。また、休み時間もたくさんの児童が教師と共に運動場でドッジボールなどの運動に親しんでいる。しかし、体育の時間における主体的な学びの項目が全国平均を下回っている。運動能力や技能の向上のために、自分の目標や課題を明確にし、進んで運動に取り組もうとする態度の育成が課題として挙げられる。また、長座体前屈の値が全国や市よりも低いいため、柔軟性を高めることも課題である。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

運動技能や能力の向上のために、自分で目標や課題を設定し、友達とよかったところや修正した方がいいところなどについて話し合う活動を積極的に取り入れ、目標を達成したり、課題を解決したりすることで、達成感を味わわせるような授業ができるように取り組んでいく。その際、自分や友達の動きを撮影し合ったり、模範の動きを見て参考にするなど、ICT機器の積極的な活用に努める。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

今後も「松北スポーツタイム」に柔軟性を高める運動を取り入れるなど、様々な運動を計画的に継続していく。また、体育委員会を中心としスポーツ集会等を実施することによって、児童に運動することの楽しさを味わわせ、運動能力・技能の向上に努める。また、児童が楽しく運動に取り組んでいる姿を積極的に学校だよりやHP等で地域や保護者に発信し、運動やスポーツを「する・見る・話す」ことの大切さを広めていきたい。